

宗像市市民参画等推進審議会会議録（要旨）

日 時	平成29年3月23日（木）13：10～17：00
場 所	メイトム宗像 204会議室
委 員	*■出席 □欠席（五十音順、敬称略） □ 井上豊久 ■ 木村健次 ■ 佐藤靖成 ■ 種田明美 ■ 時枝寛 ■ 東博子 ■ 福岡佐知子 ■ 毛利拓也 ■ 山田明 ■ 吉田晴希 （五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ協働推進課（中野参事、中脇、井口、櫻井、神）

1. 人づくりでまちづくり事業補助金説明会及び報告会 元気な島づくり事業補助金説明会及び報告会

《人づくりでまちづくり事業補助金説明会》
事務局より資料に基づき説明

《人づくりでまちづくり事業補助金報告会》

①むなかた自炊塾

団体より資料に基づき説明後、質疑応答

（質問）事業を始めて、メンバーがどのくらい増えたか。

（応答）初めは事業がスムーズに進むよう少人数で始めたが、口コミでメンバーが広がり、現在の登録人数は50名程度。

②宗像アサギマダラの会

団体より資料に基づき説明後、質疑応答

（質問）子どもや親子での参加が課題として挙げられていたが、今後の見通しは。

（応答）今年度はスタッフのスキルの向上や調査の手法の確立に重きを置いていたが、親子の参加については、今年度参加していただいた親子から広げていきたい。

（質問）マーキングとはどういう意味か。

（応答）蝶々の羽に観察の情報を書くこと。

（質問）今後の活動場所の展開は。

（応答）蝶々の食草を更に調査したり、市民の皆さんに蝶々を通して宗像の色々な昆虫に興味を持ってほしいので、活動場所を増やしていきたい。

③ノルディックウォーキングを広める会

団体より資料に基づき説明後、質疑応答

(質問) 体験会の開催数が少ないが。

(応答) PR 不足もあり今年度は開催が少なかったが、徐々にお声かけをいただいているので、来年度は広報活動にも力を入れて開催数を増やしていきたい。

(質問) 運動目的以外にも、街中に出かけたりするときなど、日常的に行えるのか。

(応答) 運動目的としては週2回が目安である。その他、高齢者の買い物時や足の悪い方の歩行の補助としても利用できる。メタボや肩こり解消等に効果的である。

(質問) ポールの用途は、杖の代用か姿勢を正すためか、どちらに重きを置いているのか。

(応答) 目的は健康づくりだが、足の悪い方には歩行の補助として、健康な方には健康づくりとしてなど、段階を分けて取り組んでいる。

(質問) 報告書の自己資金は、会員全員分か。

(応答) 全会員分である。

④Grand Jour

団体より資料に基づき説明後、質疑応答

(質問) 事業内容や予算書を見ると、コミュニティ・センターで行っている事業などと類似のものなどが見られる。市の補助金を使ってこういう効果が出たという特徴的な活動はあるか。

(応答) 子育て中に家で子どもと二人きりで過ごしていると煮詰まってしまう場合がある。様々なプログラムを設けて、外へ出て他者と関わるきっかけを作っている。この事業の効果として、参加者には、友達づくりや自信づくりをしていただいている。

(質問) お灸講座の目的は。

(応答) 子育てに一生懸命だと自分の不調は後回しになってしまう。
保護者に体のケアをする機会をもうけ、より良く子どもと向き合えるようになってもらいたい。

(質問) 宗像の子育てサークルなどへの登録はしているか。

(応答) 宗像市が発行している「ママ・パパ応援 BOOK」に掲載している。

(意見) 活動の趣旨として「子育て」だけでなく「ママたちが色んな活動をとおして自分を高める」というコンセプトがしっかりしているので、そこをしっかりと PR して今後更なる参加者の増加に努めていただきたい。

⑤ガールスカウト福岡県第28団

団体より資料に基づき説明後、質疑応答

(質問) 一昔前、ボーイスカウト、ガールスカウトというとロープ結びや道しるべなどを行うイメージだったが、それは今でも実施しているのか。

(応答) 現在も実施している。

(質問) プレーパーク事業など同じような活動をしている団体との横のつながりはあるか。

(応答) 交流会に参加したことがあり、存在は知っている。過去、メンバーの個人的な関わりがあったとも聞いている。宗像の子ども達に自己肯定感をもってほしいという目的は共通しているので、今後情報を共有していくなど、課題として考えていきたい。

(質問) 次年度は申請しないのか。

(応答) 自由提案型の補助率が2/3で、それ以外をほとんどバザーの収益で賄っており負担が大きかったため、申請は考えていない。

次年度の事業計画は決まっており、事業は継続していく。

⑥鐘崎の漁村文化を次代につなぐ会

団体より資料に基づき説明後、質疑応答

(質問) 事業の参加者のうち、宗像市内の人は何人か。

(応答) 本日、代表不在で資料がないため、申し訳ないが答えできない。

(質問) 実施の拡大は考えているか。

(応答) 元々、こういった活動をしている者がいたが手弁当で継続が難しかったため、グループを作って本事業補助金を申請した。漁師と言う職業のため日程が組みづらいが、上手く日程調整を行い、活動場所を宗像市内だけでなく福岡市などの市外にも展開し、魚食普及に取り組んでいきたい。

《審議会委員意見交換会》

人づくりでまちづくり事業補助金事業報告会終了後、審議会委員及び事務局とで意見交換会を実施。

①むなかた自炊塾

(意見) 代表の比良松先生は、以前宗像市内の小学校PTAで役員をされていたこともあり、人脈が広く、関わっている方や活動内容のバラエティが豊か。参加者の中には

社会人もいるため、活動を会員制にすると会費等の問題で参加が困難な人もいられるが、1回のみの参加もOKとするなど工夫してぜひ活動を継続してほしい。

（意見）料理の技術の講習だけでなく、まずは多くの方に自炊が定着するような取り組みをお願いしたい。

②宗像アサギマダラの会

（意見）活動場所の拡大を検討してほしい。

（上記に対する意見）報告会でも少し話が出ていたが、赤間地区、赤間西地区、河東地区などにも展開しているようである。

③ノルディックウォーキングを広める会

（意見）健康な方にはスポーツとして、足の悪い方には歩行の補助としてポールを使うという区分けを明確にした方がよい。

（意見）人づくりでまちづくり事業として取り組むには、体験会の開催数やPRが少ないため、今後はPRに力を入れて取り組んでほしい。

（意見）自炊塾やノルディックウォーキングなど、一昔前では当たり前のことで、税金を使って取り組むことなのか。

（上記に対する意見）例えば、自炊塾では母親の自炊力の向上が子どもへの食の伝承に、また、ノルディックウォークでは若い世代の指導者養成を行うことで健康づくりの伝承につながる。

（事務局より）今日の社会課題解決のために市民活動団体が事業を実施し、その支援として当補助金を使っている。

④Grand Jour

（意見）特定の知り合いの針灸の方を講師として呼んだり、予算書を見ると切手代や文房具代を計上されているので、誰のために何のためにといった目的がよく分からない。「お母さん」と一口で言っても間口が広いので、もう少し対象を明確にし、効率的なPRの検討が必要ではないか。

⑤ガールスカウト福岡県第28団

（意見）ガールスカウトの活動は素晴らしいので、次年度申請がないのは残念。ただ、団体にとって5～6万円の自己資金の持ち出しはきついと思われる。また、機会があれば申請をしてほしい。

（意見）横とのつながりを作って、例えばJA宗像などに協賛金をもらうなど、自己資金の集め方に工夫をしたらよいと思われる。

⑥鐘崎の漁村文化を次代につなぐ会

・もっとPRの工夫をすればよい。

《元気な島づくり事業補助金説明会》
事務局より資料に基づき説明

《元気な島づくり事業補助金報告会》

（意見）前回審査会時にも指摘したが、「離島」という言葉の使用を改めることができないか。

（事務局より）大島、地島は、離島振興法に定められている離島に該当するため、離島という言葉を使わせていただいている。

①宗像市地島小学校 PTA

団体より報告後、審議会委員より質疑応答

（意見）大島の小学校 PTA でも以前補助金を申請していたので参考にしてほしい。
また、玄海地区では小中一貫校の取組みをしているが、他の小学校から地島小学校を訪問するなど、小学校時代に子ども達の交流の機会をつくったらどうか。
渡船代も補助対象となるので参考にしてほしい。

（質問）島民 160 人のうちの小学生の人数は。

（応答）7 名＋漁村留学の子ども達 5 名の計 12 名

②九州女子大学人間生活学科

団体より報告後、審議会委員より質疑応答

（質問）地島での取組みの様子を伺いたい。

（応答）今年度は事業 1 年目で、学生たちは地島の知識が不十分だったので準備の手伝いにとどまった。次年度以降ホームステイをさせてもらうなど、島の暮らしを体験し地域のことをより考えていきたい。

（質問）地島小学校の校長先生とは話をしたか。

（応答）校長先生とも、漁村留学の前田さんとも話をした。漁村留学の指導員の負担が大きいなどの話を聞き、学生にとっては島の少子化の問題や就業の現状などについて考えるきっかけとなっている。今後もそういったことを学んでほしい。

（質問）世界遺産が決まったら、今後事業内容に取り入れていくべきでは。

（事務局より）世界遺産推進については宗像市全体で取り組み、受入体制をつくっている。補助金は、あくまで島の方々が課題解決のために考える離島振興の取組みを支援するものであるため、市として取り組んでいるものとは

切り離して考えている。

（意見）あまり、世界遺産を考えすぎず、島の方々の思いで補助金を活用してほしい。

2. 副市長挨拶及び委嘱状交付式

副市長より市長挨拶代読後、審議会委員へ委嘱状を交付。

3. 自己紹介

配布資料の名簿に沿って参画審議会委員の自己紹介。

4. 宗像市市民参画等推進審議会に関する説明及び会長、副会長選出

資料に基づき事務局より参画審議会所掌事務の説明。

審議会委員の互選により、会長は井上氏、副会長は東氏に決定。

《副会長挨拶》

市民参画条例が出来て１０年が経った。市民参画条例が出来たことで、この１０年で附属機関等の女性登用率や新人研修等が目に見えて変わってきた。宗像市のまちづくりの財源は大きく、人づくりでまちづくり事業補助金によって多くの団体の支援ができています。今後も、思いを持った市民と行政とで色んなものを活用してまちづくりに取り組んでほしい。参画審議会の担っているものは多いが、皆で力を合わせて取り組んでいきたい。

5. 今後のスケジュール等について

①市民サービス協働化提案制度及び人づくりでまちづくり事業補助金事前学習会

５月１６日（火）１３：００より市役所にて（詳細は後日通知）

②市民サービス協働化提案制度及び人づくりでまちづくり事業補助金審査会、検討会

５月２３日（火）９：００より市役所にて（詳細は後日通知）

＝ 散 会 ＝